まちのうごき

2月12日 芽室町図書館

芽室町読書感想文コンクール



第52回芽室町読書感想文コンクールの表彰式を行い、各部門で最優秀賞を受賞した14人に表彰状を贈呈しました。

今年度は感想文部門に125点、昨年度から新設したPOP部門に83点の計208点の応募がありました。

程野教育長は「読書はさまざまな表現や世界を学べる勉強のひとつ。これからも自分の考え方や想いを発信していってほしい」とコメントしました。

受賞された皆さん、この度はおめでとうございます。

2月4日 芽室町役場

芽室町の障がい福祉サービスを知ろう



町の障がい者支援の取り組みについて理解を深めるため、町内の福祉サービス事業所等が5グループに分かれ、分野ごとに福祉サービス等を紹介する説明会が開催されました。これは、障がい等への支援体制の整備を図るため、障がい者福祉サービス事業所が定期的に協議を行う場として設置された「芽室町自立支援協議会」の事業所連携会で実施されたもので、一般参加者や町内の福祉サービス関係者など約60人が参加しました。

参加者同士の情報交換や交流の場となり、とても有意義な時間となりました。

2月19日 芽室中学校

人権作文コンテストで法務省人権擁護局長賞を受賞





法務省と全国人権養護委員連合会が主催する第44回全国中学校人権作文コンテストで芽室中学校3年の阪本桃香さんが法務省人権擁護局長賞を受賞され、2月19日に竹村釧路地方法務局長から表彰状が授与されました。阪本さんは「全国大会に出場でき賞もいただいて驚いている。さまざまな人に読んでもらえたら嬉しい」と話していました。

また、芽室中学校の長年の人権作文活動に対して法務省人権擁護局長から感謝状が授与され、十勝地区大会においては同校3年の倉内水優さんと久良木与さんが入賞されています。

パーキンソン病と認知症を患う祖母との交流を書いた阪本さんの作品「うらら」はQRコードから読むことができます。

2月15日 芽室町中央公民館

防災・減災を考えるセミナーを開催しました



芽室町在住で気象予報士・防災士の資格をお持ちの高桑衣佳氏を講師に迎え、防災・減災を考えるセミナーを開催し、中央公民館を避難所に見立てて、最新版の避難所運営ゲーム「Doはぐ北海道2025」を行いました。

いつ起こるかわからない災害において、避難を余儀なくされた場合、町が開設する避難所において避難生活を送るに当たり、避難者が抱える様々な問題点や出来事の背景を考えながら、どう対応すべきかを話し合いながら進めることで大変学びのあるセミナーとなりました。